

答 申 書
(案)

旭川市総合計画審議会

令和5年 月 日

旭川市長 今津寛介様

旭川市総合計画審議会
会長 中川初恵

第8次旭川市総合計画基本計画改定案について（答申）

令和5年9月26日付け旭政策第142号において本審議会に諮問された第8次旭川市総合計画基本計画改定案について、第8次旭川市総合計画の策定後の社会経済情勢の変化等を踏まえて慎重に審議した結果、同改定案については、おおむね妥当と認めます。

ただし、第8次旭川市総合計画基本計画の改定に当たっては、審議においてまとめた意見の趣旨を十分に生かされるとともに、改定後は、実効性のある計画の推進に努められるよう要望し、別紙の意見を付して答申します。

意見

1 基本計画全体について

- 成果指標の達成状況などを踏まえて実施した第8次旭川市総合計画の評価検証の結果をもとに、今後も引き続き、同計画の着実な推進が求められるとともに、その進捗や市民意見の反映状況等について、市民によりわかりやすい公表に努めるべきである。

2 各基本政策について

(1) 基本目標1

ア 基本政策2

- 市民の健康づくりについては積極的な行動のほか、まちの活動に参加することで、健康状態の改善につながるといった記載の追加を検討する必要がある。
- 男女差や所得差にかかわらず、誰もが健康で、質の高い生活を過ごすことができる社会の実現に向けた記載の追加を検討する必要がある。
- 新型コロナウイルスに限定した記載について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを踏まえ、新たな感染症への備え、あるいは感染症全体への対応など表現方法を検討する必要がある。

(2) 基本目標2

ア 基本政策4

- デザイン思考に係る注釈について、「デザイン」という言葉自体に様々な捉え方があり、難しいことから、市民に分かりやすい表現方法を工夫する必要がある。
- 学校における働き方改革に関する記載については抽象的であり、教職員がより子どもたちと向き合うことができるよう教職員の負担軽減のほか、専門スタッフや外部人材の充実といった改革の内容を記載する必要がある。

(3) 基本目標3

ア 基本政策6

- 代表的な産業として、家具があげられているが、本市の産業が家具だけと捉えられないよう、また、デザイン思考という言葉が出てきている中、「デザイン=家具のデザイン」といった限定的な捉え方にならないように表現方法を工夫する必要がある。
- 家具や農業以外の既存産業の維持発展に係る記載の追加を検討する必要がある。

(4) 基本目標 4

ア 基本政策 8

- 除排雪体制の充実強化において、除排雪人材の確保に係る記載の追加を検討する必要がある。

イ 基本政策 10

- 成果指標「災害や犯罪などに対して不安に感じている市民の割合」は、他地域で発生した大規模災害の影響を受けることも想定されることから、市の防災体制の充実と関連性がある指標の設定を検討すべきである。
- 災害時に要配慮者への支援が行き届く防災体制の整備等、要配慮者を孤立させないための地域との連携についての記載の追加などを検討する必要がある。

3 「都市づくりの基本方策」について

- 中心市街地における居心地が良く歩きたくなるまちづくりの推進について、効果のひとつとして書かれている観光客の増加がイメージしにくいので、表現方法を工夫する必要がある。
- 基本方策 2 において、農産物をはじめ地場製品の競争力を確保するためにも貨物輸送力の維持に関する記載の追加を検討する必要がある。

また、基本方策 2 の現状と課題において、福祉における労働力不足について触れられていることから、その方策においても福祉についての記載を検討する必要がある。